

5 主要事業個別說明資料

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】

一般国道331号「沖縄西海岸道路 豊見城道路」の整備促進 ～平成18年度 全線供用～

1. 事業概要

豊見城道路は「ハシゴ道路」を構成する沖縄西海岸道路（延長約50km）の一翼を担うもので、豊見城市瀬長から糸満市西崎に至る延長L=4.0kmの道路であります。本路線は、豊見城市及び周辺部の交通混雑の緩和、那覇空港等への交通アクセス向上、地域開発プロジェクトの支援に資する道路として期待されています。

平成18年2月25日に豊見城市瀬長～豊崎の部分暫定供用を行い、引き続き平成18年度の全線暫定供用を目指し事業の進捗を図ります。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成元年度

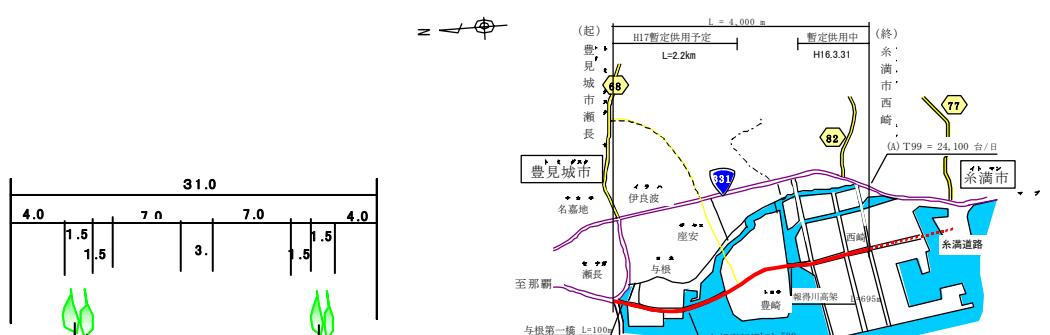
完成予定期限

平成18年度（暫定）

平成 18 年度事業費

2,900百万円

概要図



進捗狀況



報得川高架橋進捗狀況



18.2.25 開通式

2. 平成18年度の整備内容

豊見城市豊崎～糸満市西崎地先間を供用することにより、全線供用（2／4）となります。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】

一般国道58号「浦添北道路」 ～平成18年度 新規事業～

1. 事業概要

浦添北道路は「ハシゴ道路」を構成する沖縄西海岸道路（延長約50km）の一翼を担うもので、宜野湾市宇地泊から浦添市港川に至る延長L=2.0kmの道路であります。本路線は、浦添市及び周辺部の交通混雑の緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上を目的とした路線であり、また、観光、地域の活性化、地域振興プロジェクトの支援に資する道路として期待されています。

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成18年度

完成予定年度

平成20年度後半

平成18年度事業費

100百万円

概要図



港川交差点混雑状況



城間交差点混雑状況



2. 平成18年度の整備内容

実施設計予定。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

那覇空港の整備（誘導路改良）

～平成18年度 完了事業～

1. 事業概要

空港の根幹施設である誘導路のうち、A-3、A-7、E-7 誘導路については、長年の使用により舗装体の劣化等が進行していることから、平成18年度に改良工事を行うものである。

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成18年度

完成予定年度

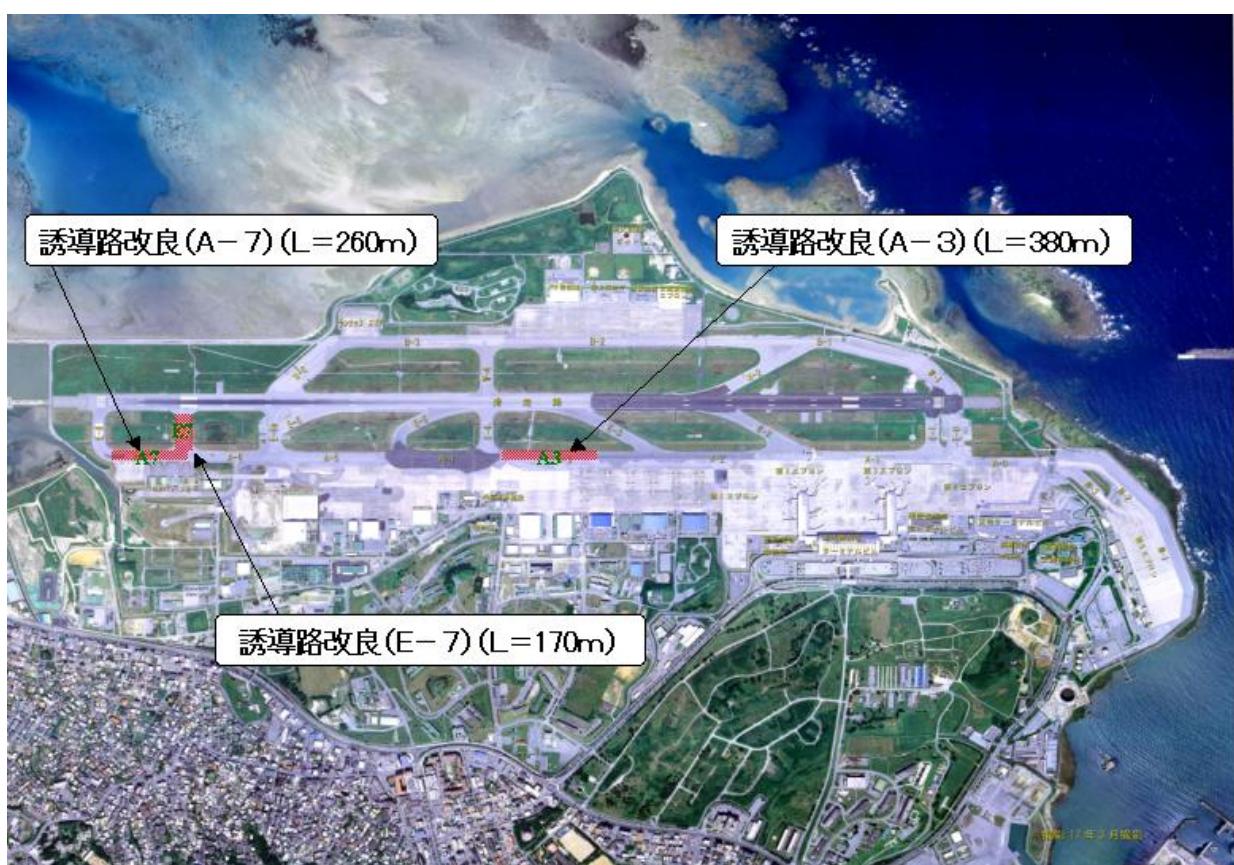
平成18年度

平成18年度事業費

392百万円

概要図

平成18年度 施工箇所



2. 平成18年度の整備内容

誘導路810m区間の改良を行います。As舗装 A=22, 100m²

- 【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】
- 【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

**那覇港大型旅客船ターミナル整備事業
～平成18年度 新規事業～**

1. 事業概要

那覇港には、これまで多くの外国人観光客が旅客船を利用して訪れています。しかしながら、その受け入れについてはコンテナなどの貨物が密集し、荷役作業が頻繁に行われている一般貨物取扱岸壁での対応を余儀なくされており、沖縄のイメージの低下に加え安全性および荷役作業効率の低下が問題となっています。そこで観光立県沖縄としての海の玄関口にふさわしい旅客船ターミナルの整備を行うものです。また大規模地震が発生した場合、多くの背後圏人口を抱える那覇港において緊急物資対応の耐震強化岸壁の整備は急務となっています。

よって、大型旅客船ターミナルを耐震強化岸壁として一体的に整備することにより、国際交流拠点の基盤整備を図るとともに、防災拠点の整備を図ります。なお、事業の実施にあたっては今後のクルーズ船の定期化等その就航動向を踏まえ現地着工します。

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成18年度

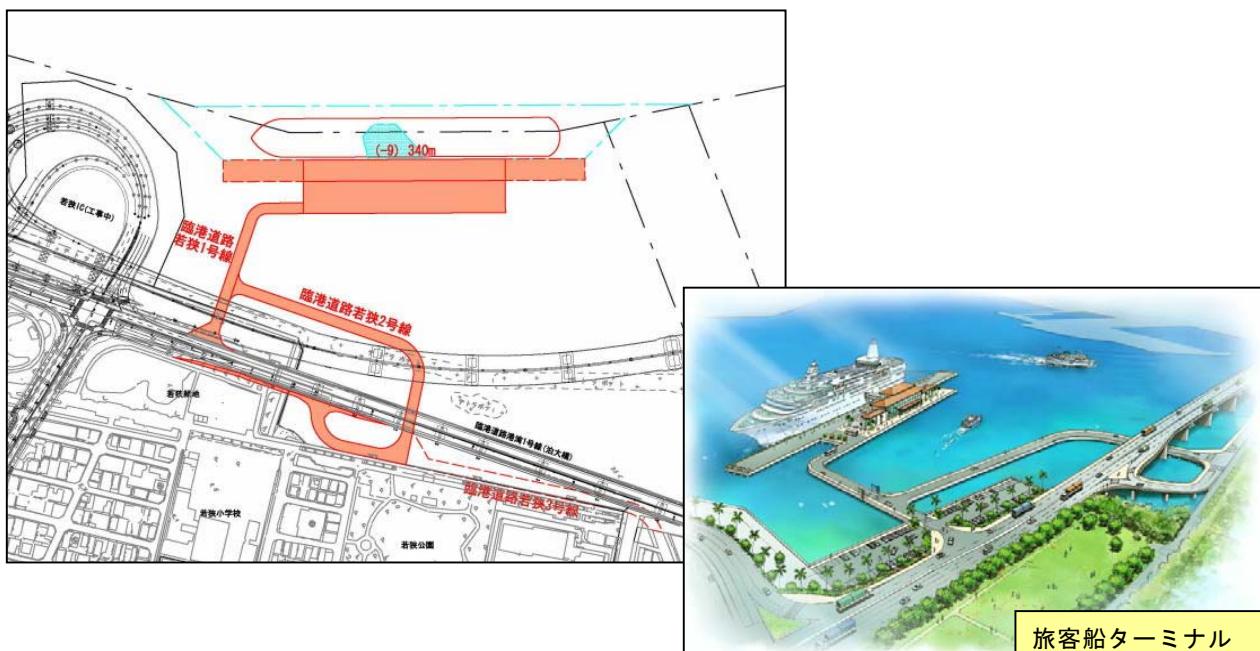
完成予定年度

平成21年度

平成18年度事業費

100(95)百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

現地調査（深浅測量、土質調査等）および基本設計を行う予定。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

主要地方道 南風原知念線（「地域高規格道路 南部東道路」） ～平成18年度 新規事業（着工準備）～

1. 事業概要

当道路は、南風原町内の那覇空港自動車道から南城市大里、玉城、佐敷を経由して、知念に至る延長約12kmの地域高規格道路・南部東道路のうち、8.3kmの区間です。

当該道路は、「ハシゴ道路」の一部として機能することで、広域道路ネットワーク基盤が不足している島尻地域において定時・定速の交通サービスを提供し、那覇都市圏や那覇空港との連携を強化することにより、通勤通学や経済活動等の利便性の向上や、当地域の観光振興に寄与します。

また、平成18年1月に4町村（大里村・玉城村・佐敷町・知念村）が合併して南城市が誕生しており、地域住民の行動圏の拡大を図り、新市の一体化の基盤づくりとしても期待されています。

完成・新規・継続の区分

新規（着工準備）

事業区分（直轄・補助）

補助

完成予定年度

平成20年代後半

平成18年度予算

80百万円

概略図



2. 平成18年度の実施内容

平成18年度は、予備設計及び環境基礎調査を行います。

○【自立経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

都市計画道路 松山線
～平成18年度 新規事業～

1. 事業概要

当路線は、地域高規格道路沖縄西海岸道路・那覇西道路（事業中）若狭 IC と一般国道 58 号久茂地交差点を結ぶ道路である。

本路線を整備することにより、那覇西道路と連携した道路ネットワークが構築され、那覇空港へのアクセス性の向上、那覇市中心部の交通渋滞緩和などの効果が見込まれる。現在、那覇西道路が事業中であることから、連携した早急な整備が必要である。

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成18年度

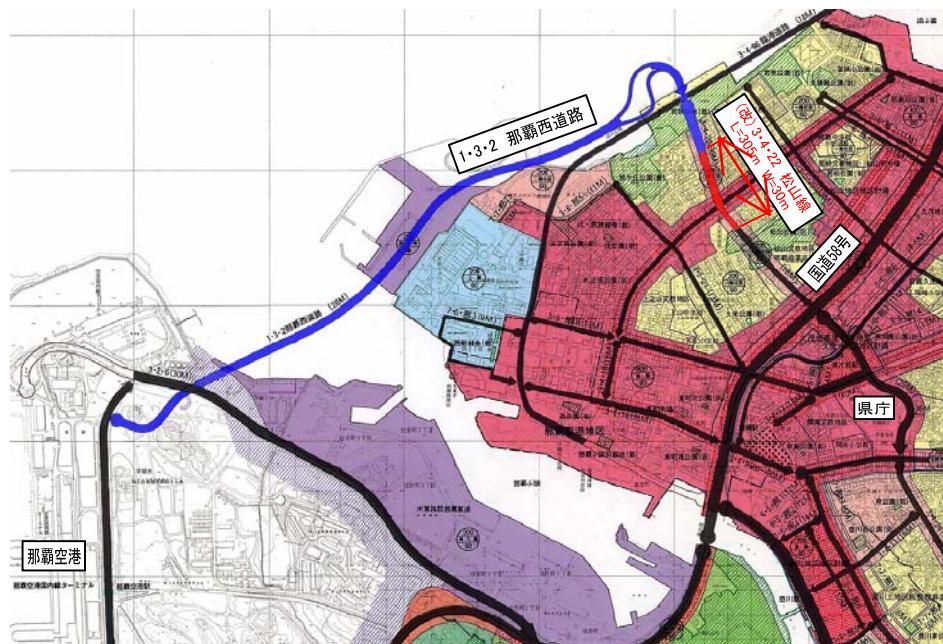
完成予定年度

平成22年度

平成18年度事業費

600百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

- 用地補償・道路工事を行います。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

久場川公園整備事業
～平成18年度 新規事業～

1. 事業概要

本公園は、復帰後、郊外住宅地として人口が急増し、公園を含めた各種基盤整備が遅れたまま市街化が進行し、プロール地帯となっている首里久場川及び石嶺地域の閑静な住宅地に位置しています。当該地域には公園が少なく、「那覇市緑の基本計画」においても、公園整備の必要性が位置付けられており、災害時における避難場所やスポーツ及び憩いの場、地域コミュニティ活動の場等の確保が課題となっており、平成18年度に公園整備に着手することにより、良好な都市環境を形成し、都市機能の充実を図るもので

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成18年度

完成予定年度

平成22年度

平成18年度事業費

54百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は、用地買収を行う予定です。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

都市公園等統合補助事業（コザ運動公園）

～平成18年度 完成事業～

1. 事業概要

本公園は沖縄市に位置し、沖縄祖国復帰記念「若夏国体」会場跡地 37.5ha を運動公園として昭和48年に都市計画決定をしました。

スポーツコンベンションシティー宣言に基づき、市民の健康づくり、交流、ふれあいの拠点として整備を行ってきました。

完成・新規・継続の区分

完成

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

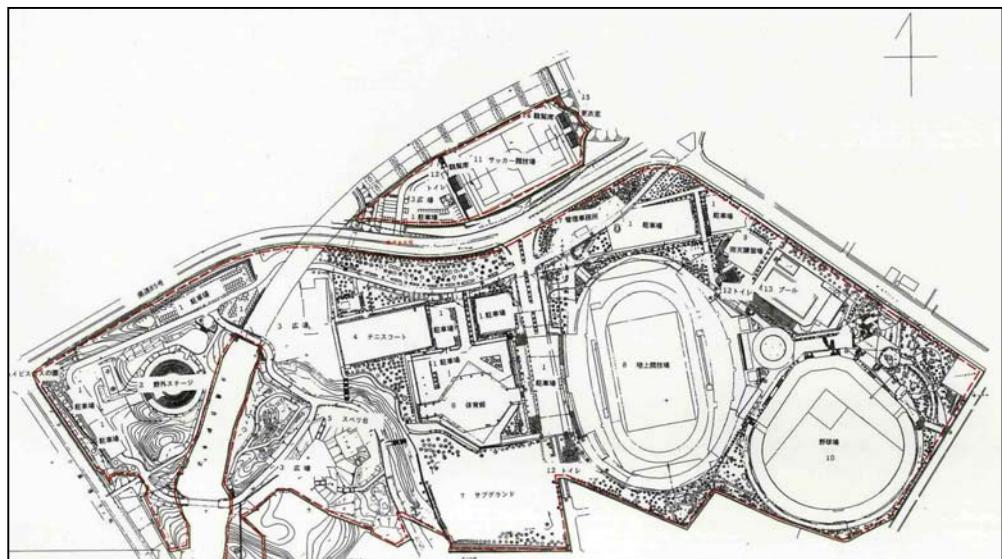
昭和49年度

完成予定年度

平成18年度

平成18年度事業費

概要図



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は、未買収用地の取得を行います。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】

一般国道506号「那覇空港自動車道 豊見城東道路」の整備促進 ～平成18年度 繼続事業～

1. 事業概要

豊見城東道路は、「ハシゴ道路」を構成する那覇空港自動車道の一翼を担うもので、本島北部、中南部及び那覇空港間の定時性、高速性を確保するとともに都市部の交通混雑緩和に役立つことが期待されています。

平成15年4月26日に南風原南IC～豊見城IC間の部分暫定供用を行い、引き続き、那覇空港南IC（仮称）までの早期暫定供用をめざし事業の進捗を図ります。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成3年度

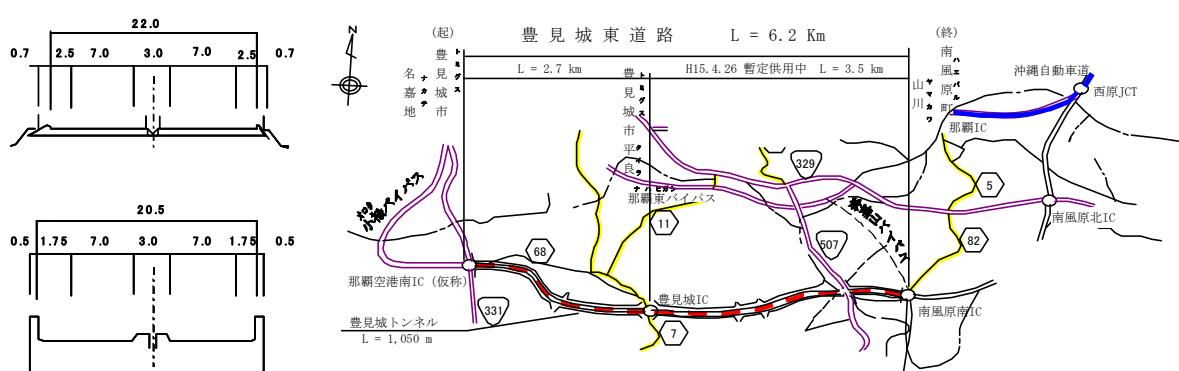
完成予定年度

平成19年度

平成18年度事業費

4,720百万円

概要図



豊見城トンネル切羽状況



那覇空港南IC(仮名)側付近

2. 平成18年度の整備内容

早期暫定供用に向け、トンネル工事等の促進及び用地買収の促進を図ります。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】

一般国道58号「那覇西道路」の整備促進 ～平成18年度 繼続事業～

1. 事業概要

那覇西道路は、「ハシゴ道路」を構成する沖縄西海岸道路（延長約50km）の一翼を担うもので、那覇市若狭から同市鏡水に至る延長 $L=3.0\text{ km}$ の道路であります。本路線は、那覇市街部及び周辺部の交通混雑の緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上を目的とした路線であり、また、観光、地域の活性化、地域振興プロジェクトの支援に資する道路として期待されています。

平成22年度の供用を目指し事業の進捗を図ります。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成4年度

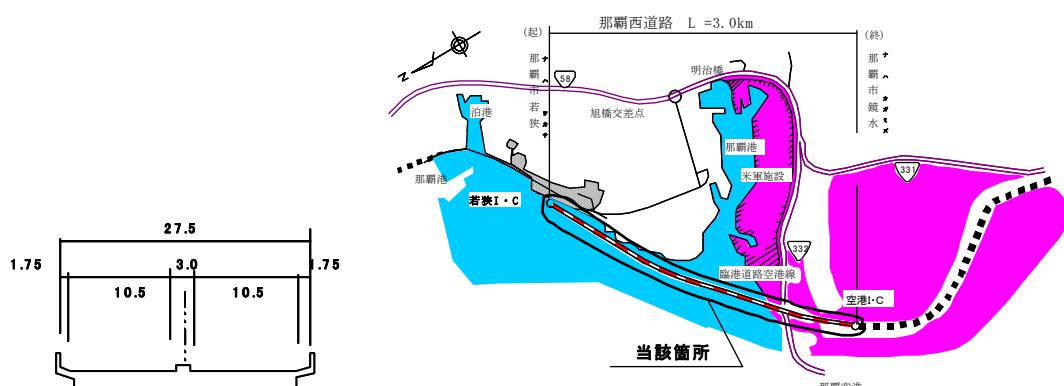
完成予定年度

平成22年度

平成18年度事業費

7,100百万円

概要図



若狭 IC 側（イメージ図）



沈埋トンネル三重城坑口付近より北側を望む（イメージ図）

2. 平成18年度の整備内容

早期供用に向け、高架橋上下部工事等の促進及び用地買収の促進を図ります。

○【自立経済の構築と持続的発展を支える基礎づくり】

那覇港臨港道路（浦添線）整備事業

～平成18年度 繼続事業～

1. 事業概要

沖縄本島の物流拠点である那覇港から本島中北部方面への物流については、浦添ふ頭以北の臨港道路が未整備であるため、港湾関連貨物は慢性的な交通渋滞が続いており、市街地を経由することを余儀なくされております。このまま推移すれば那覇港の物流交通のみならず一般交通にも極めて深刻な影響を及ぼすことが予想されます。

よって、那覇港から中北部方面への臨港交通機能を強化し、港湾物流の円滑化を図るため、臨港道路（浦添線）の整備を図ります。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成17年度

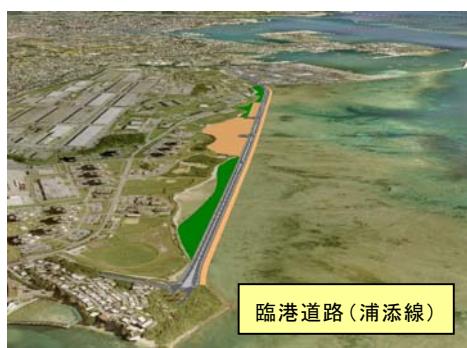
完成予定年度

平成21年度

平成18年度事業費

100(95)百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

道路基本設計を行う予定。

○【自立経済の構築と持続的発展を支える基礎づくり】

石垣港大型国際旅客船ターミナル整備事業
～平成18年度 繼続事業～

1. 事業概要

石垣港では、大型旅客船が台湾や内地等から年間30～50隻（定期・不定期）寄港し、石垣市をはじめとする八重山地域の観光産業に大きく貢献しています。しかしながら、旅客船に対応した岸壁が未整備であるため、貨物船等と同じ施設の利用を余儀なくされており、荷役貨物の間を乗客が往来するなど安全面、効率性に問題が生じています。

石垣港大型国際旅客船ターミナル整備事業は、沖縄クルージングネットワークを形成するとともに、観光立市宣言都市の石垣市においてクルージングを推進し、地域の観光産業に大きな寄与が期待されています。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成17年度

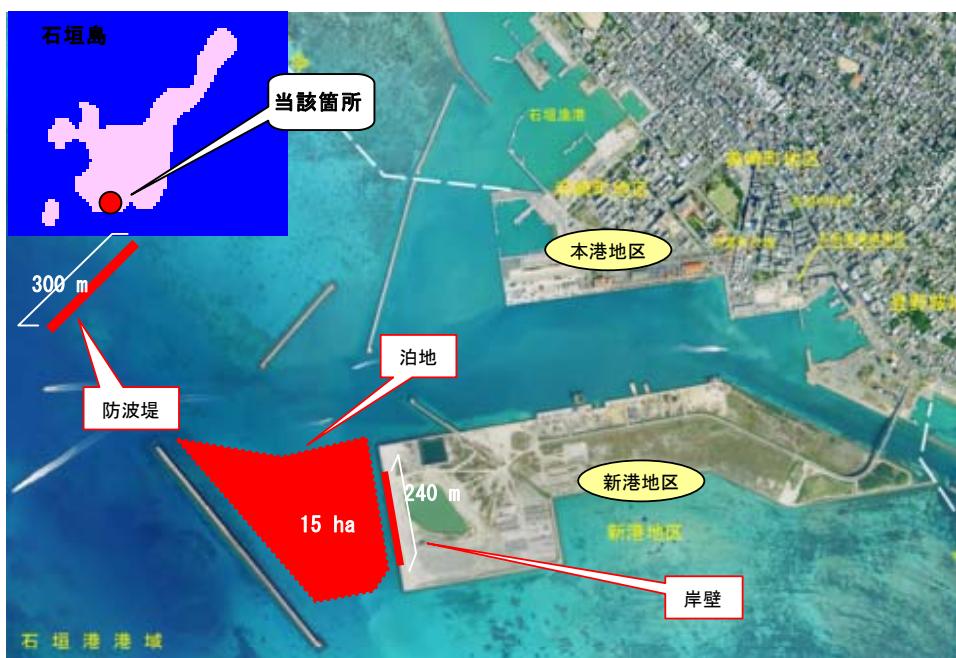
完成予定年度

平成23年度

平成18年度事業費

1,330百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

岸壁の設計、泊地の浚渫、防波堤の漁業補償等を実施する予定です。

○【自立経済の構築と持続的発展を支える基礎づくり】

那覇港（那覇ふ頭地区）臨港道路（空港線）の整備事業
～平成18年度 繼続事業～

1. 事業概要

那覇港臨港道路空港線は那覇港と那覇空港及び本島南部を海底トンネルにより連絡するものであり、那覇港における効率的な物流体系の形成に加え、国道58号線の交通負荷の軽減に資するものとして、早期供用が期待されています。これまでに沈埋トンネルの本体である沈埋函は全体で8函のうち7函を製作し、5函の沈設を完了しています。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成4年度

完成予定年度

平成20年代前半

平成18年度事業費

6,300(5,985)百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

平成17年度に引き続き8号函の製作工事、空港側立坑下部工事を行い、7号函の製作工事、6・8号函の沈設工事に着手する予定。

- 【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】
- 【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり】
- 【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり】

**主要地方道 平良・城辺線
～平成18年度 繼続事業～**

1. 事業概要

平良城辺線は、宮古島の中心部を縦貫する宮古島市平良西里から城辺福里に至る幹線道路であり、緊急輸送道路に指定されている道路である。

当該事業は、宮古病院付近から宮古空港入口付近までの区間において電線類の地中化を図るものである。

整備延長 $L = 5.5\text{ km}$

(道路延長 $L = 2.75\text{ km}$)

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成17年度

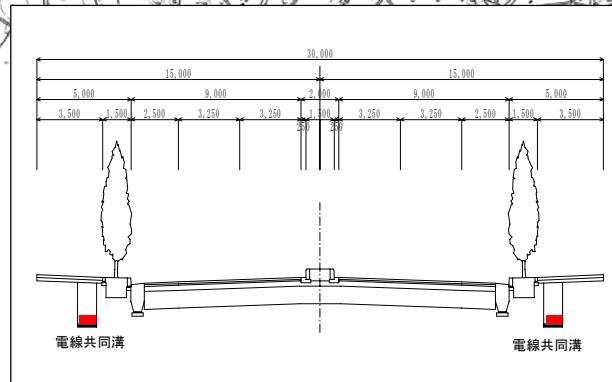
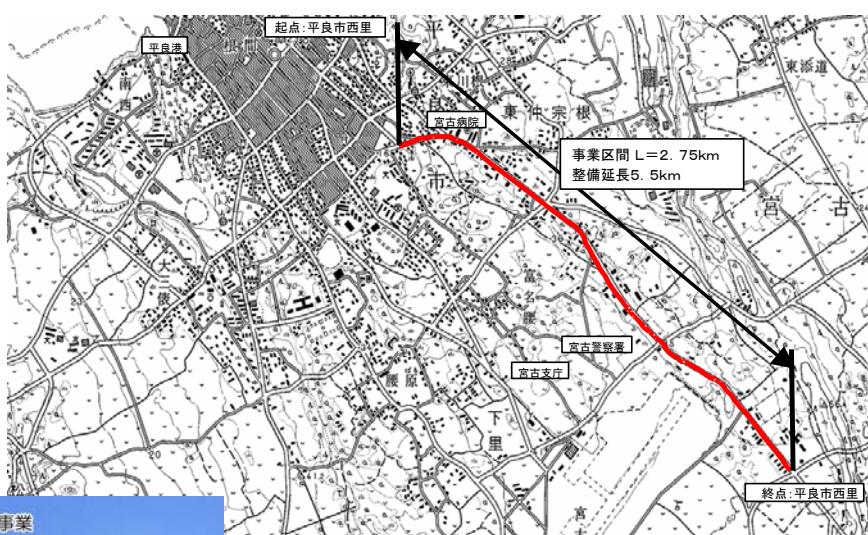
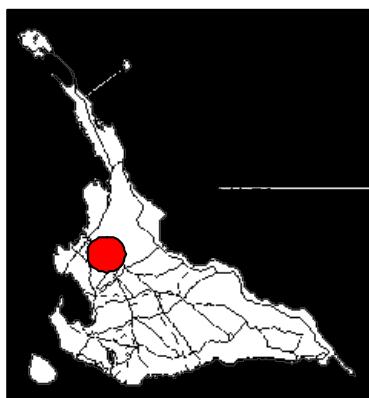
完成予定年度

平成20年度

平成18年度事業費

250百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は、電線共同溝本体工事を行う予定です。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】

一般国道507号 津嘉山バイパスの整備促進 ～平成18年度 繼続事業～

1. 事業概要

一般国道507号は、沖縄本島南部地域の中央部を縦貫し、那覇空港自動車道や国道329号那覇東バイパスに連結する幹線道路であります。

当該道路の現道は、慢性的な交通渋滞が発生していることから、バイパスの整備により、交通渋滞の緩和を図るとともに、那覇空港・那覇港へのアクセス性の向上を図るものであります。

L=5.1km、W=30m（4車線）

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成2年度

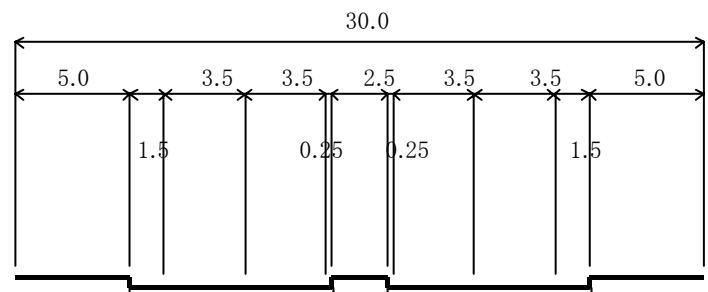
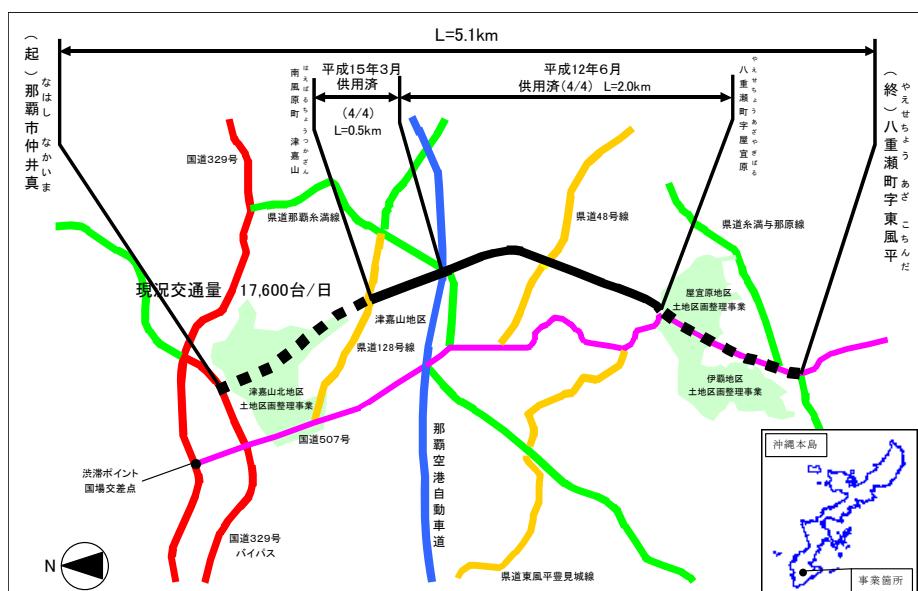
完成予定年度

平成19年度

平成18年度事業費

1,470百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は、津嘉山地区と東風平地区の用地買収及び道路改良工事、伊瀬地区土地区画整理事業への公共施設管理者負担金の対応を図る予定です。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

都市計画道路 胡屋・泡瀬線
～平成18年度 繼続事業～

1. 事業概要

当路線は、沖縄環状線嘉手納基地ゲート付近から胡屋十字路を通り、国道329号高原交差点を結ぶ道路です。

本路線を整備することで中心市街地へのアクセス機能強化を図ることができ、中城湾新港地区と市街地の物流・交通流の処理向上及び沖縄環状線との接続等、沖縄市の東西骨格軸を担う主要な幹線道路となります。また、沖縄市の市道胡屋18号線（市庁舎前線）が事業中であることから、連携した早急な整備が必要です。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成17年度

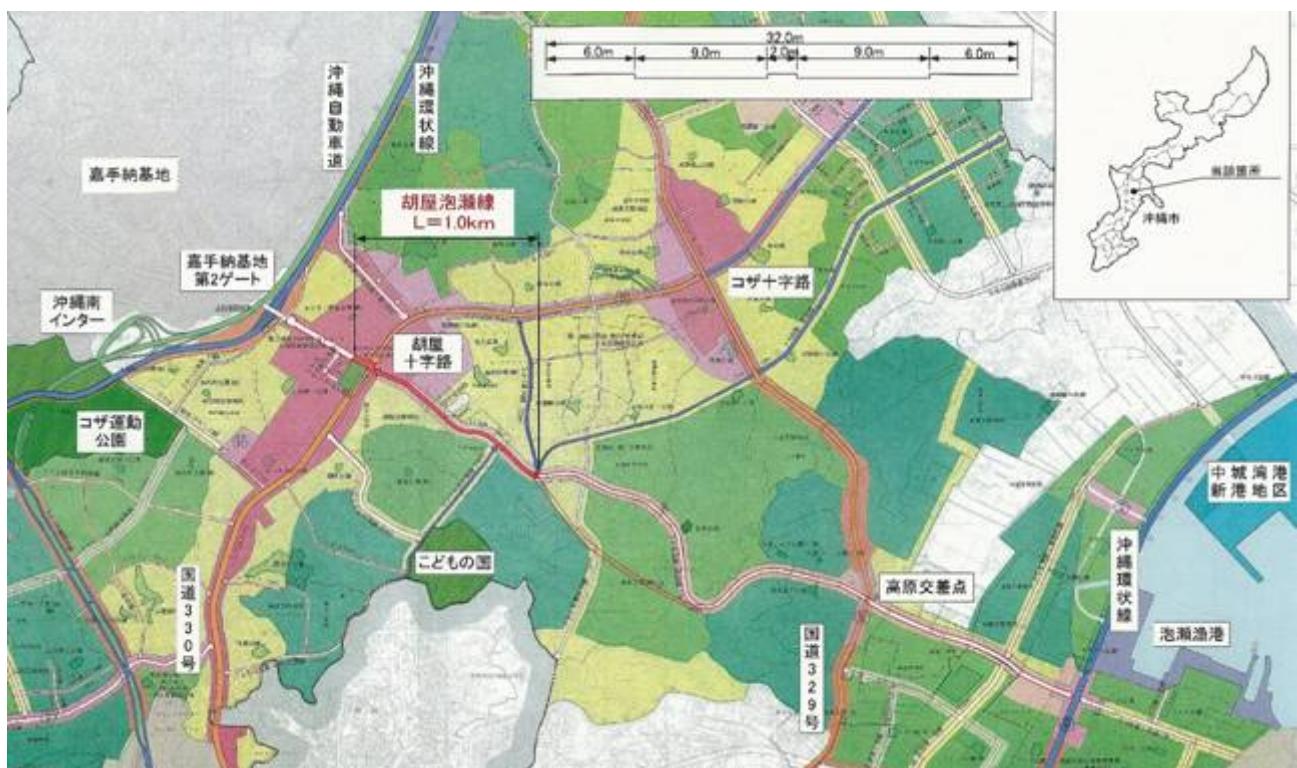
完成予定年度

平成23年度

平成18年度事業費

1. 100百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は、用地補償を行う予定である。

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

安和与那川通常砂防事業（名護市）の整備促進
～平成18年度 新規事業～

1. 事業概要

当該河川は、沖縄本島北部の名護市の西方に位置し、流域面積 2.83km²、延長 2km の普通河川であり、下流には安和の集落が展開している。当該河川では、平成 10 年 10 月の集中豪雨により、多量の土砂を含む洪水が氾濫し、沿川の集落での床上・床下浸水 8 件や農作物 (2.2ha) への多大な被害が発生した。そのため、既設砂防ダムから下流において流路工を整備し、渓岸崩壊による土砂発生及び洪水氾濫の防止を行い、第一次緊急輸送道路である国道 449 号、集落 (45 戸)、耕地 (3ha) の保護を行う。

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成 18 年度

完成予定年度

平成 22 年度

平成 18 年度事業費

50 百万円

概要図



2. 平成 18 年度の整備内容

平成 18 年度は、護岸工（流路工）実施設計及び流路工の整備を行う予定です。

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

吉原地区急傾斜地崩壊対策事業（北谷町）の整備促進
～平成18年度 新規事業～

1. 事業概要

当該地区は、沖縄本島中部の北谷町に位置しがけ高38.5m勾配35°の急傾斜地である。保全対象として老人保養施設白川園、特別養護老人ホーム陽明園及び保全人家9戸が存在する。

当該地区の斜面には亀裂及び崩落等がみられ、今後拡大する恐れがあることから土砂災害を未然に防止するために、急傾斜地崩壊対策事業による対策を図るものである。

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成18年度

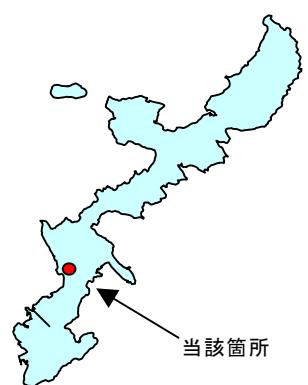
完成予定年度

平成26年度

平成18年度事業費

40百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は、実施設計と法枠工を行う予定です。

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

港川（2）通常砂防事業（今帰仁村）の整備促進
～平成18年度 完成事業～

1. 事業概要

当該地区は、沖縄本島北部の今帰仁村に位置し、本事業により保全される国道505号は、沖縄本島の本部半島を循環する唯一の主要幹線であり、第二次緊急輸送道路に指定されており、地域住民の物流の輸送、観光道路としての機能を果たしている。

土砂災害に対する家屋（35戸）、耕作地（6ha）等の保全交通機能を確保し、生活基盤の安定を図る。

完成・新規・継続の区分

完成

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成4年度

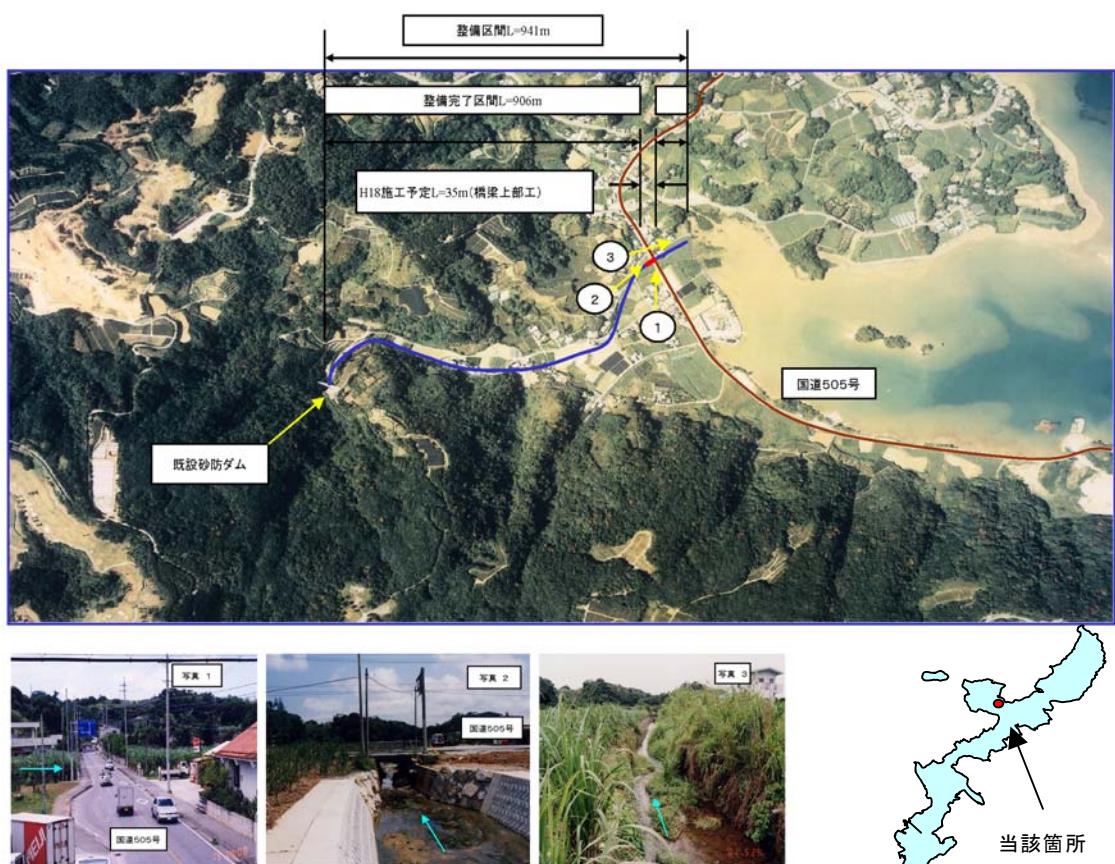
完成予定年度

平成18年度

平成18年度事業費

70百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は、国道505号横断部の橋梁上部工の整備を行い、事業の完成を目指します。

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

水釜海岸高潮対策事業
～平成18年度 完成事業～

1. 事業概要

当該事業は、高潮等による越波を防止し、背後地の保全を図ることを目的に嘉手納町水釜地先において堤防を整備するものです。

完成・新規・継続の区分

完成

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成14年度

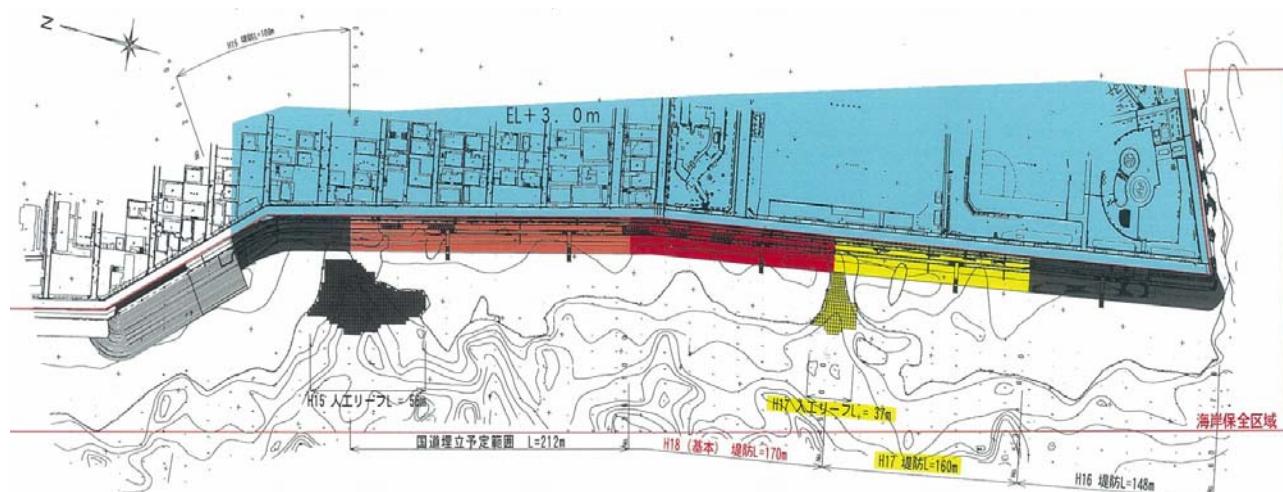
完成予定年度

平成18年度

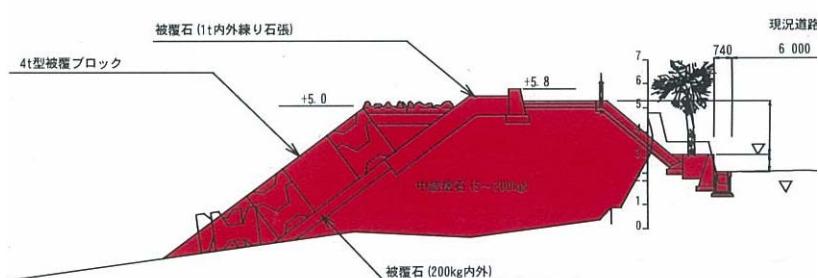
平成18年度事業費

150百万円

概要図



位置図



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は、堤防L=170mの整備を行う予定です。

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

浸水想定区域調査
～平成18年度 新規事業～

1. 事業概要

近年、浸水被害の多発する天願川において、危機管理対応力の向上を図るため、浸水想定区域調査を行います。

浸水想定区域調査とは、ある計画の降雨があった場合に想定される浸水範囲、浸水水位を調査するもので、洪水時に住民の円滑かつ迅速な避難確保のための基礎資料となります。

平成16年度実施河川：国場川、安里川、安謝川

平成17年度実施河川：比謝川、小波津川

平成18年度実施河川：天願川

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

—

完成予定年度

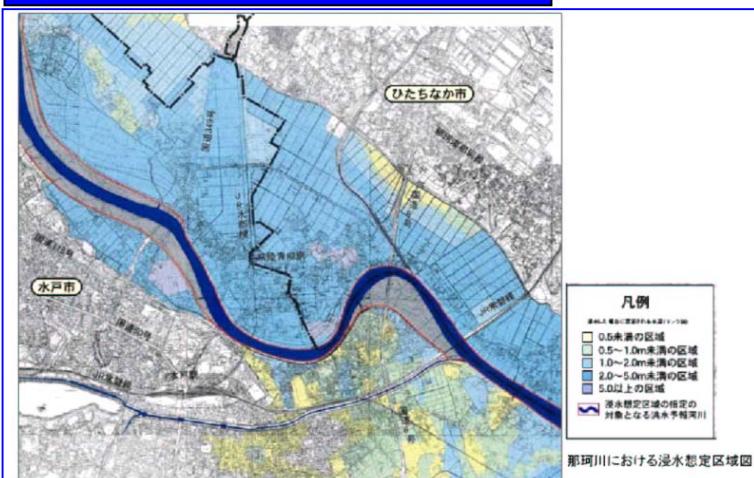
—

平成18年度事業費

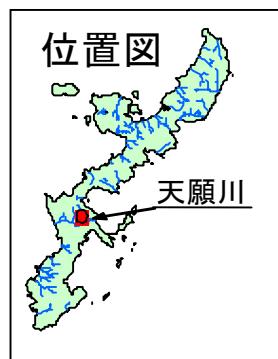
9百万円

概要図

□浸水想定区域図作成のイメージ



位置図



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は近年、浸水被害の多発する天願川において浸水想定区域図作成に必要な諸調査を行います。

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

沖縄北西部河川総合開発事業（大保ダム）の整備促進 ～ 沖縄本島の安定的な水道用水の早期確保を目指して ～

1. 事業概要

大保ダムは、大保川水系大保川に大保ダムを建設し、沖縄県企業局による西系列水道水源開発事業における8河川取水等を大保ダムに導水するもので、洪水調節、既得用水の安定化及び河川環境保全等のための流量確保、水道用水の供給を目的としています。

大保ダムでは、平成14年度に本体建設工事に着手しました。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成2年度（建設事業）

完成予定期限

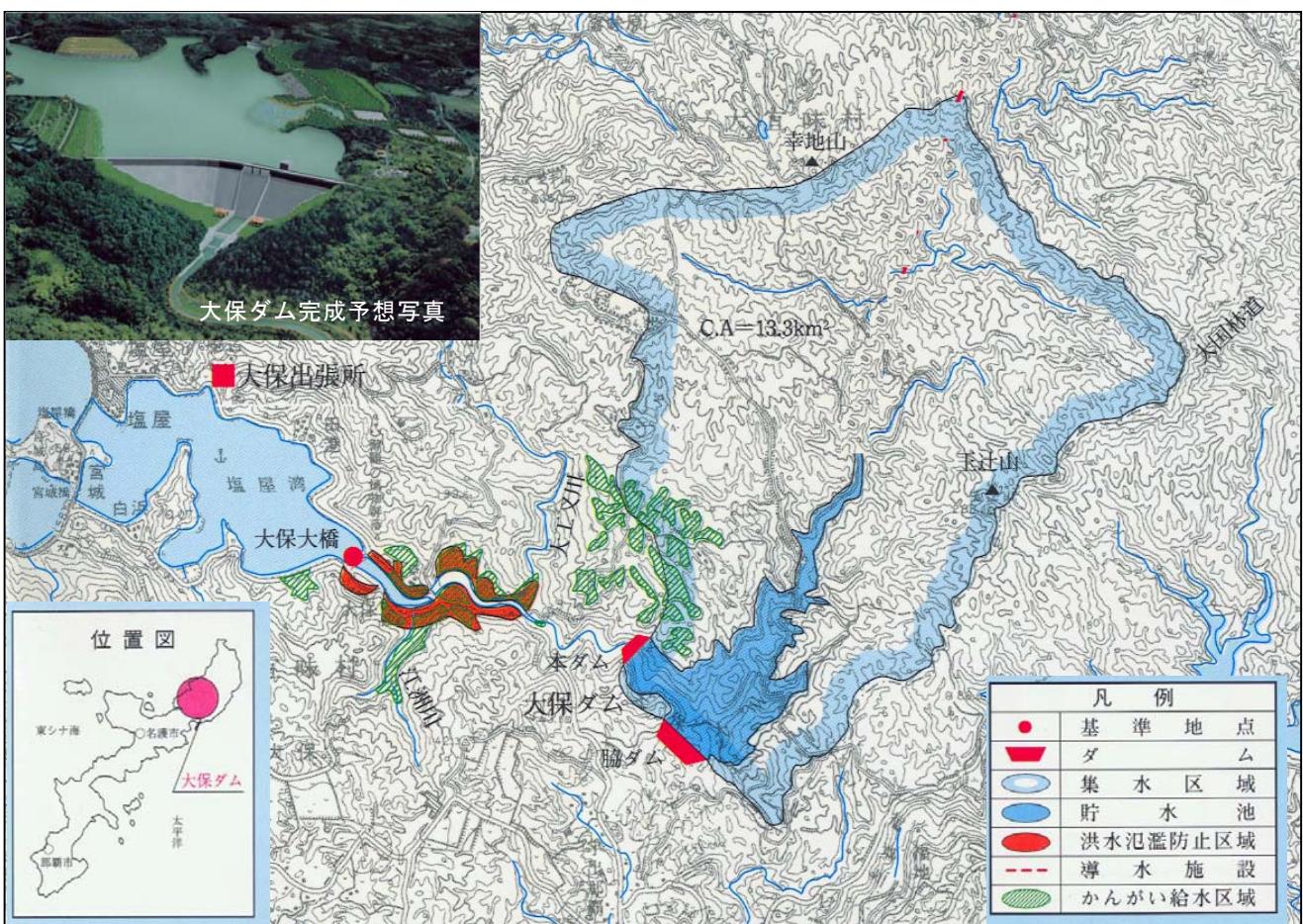
平成21年度（大保ダム）

平成 18 年度事業費

10. 992百万円

※沖縄北西部河川総合開発事業

概要圖



2. 平成18年度の整備内容

本ダムについては本体打設、脇ダムについては本体盛立てを継続して行います。

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり】

那覇第2地方合同庁舎2号館（沖縄総合事務局庁舎）の整備促進
～平成18年度 繼続事業～

1. 事業概要

那覇市内に散在する国の行政機関が入居する合同庁舎として整備するもので、行政サービスの向上及び防災機能の確保等を図ります。

また、建物の耐震化を推進し、災害時に迅速な災害対策活動が行える防災拠点として整備します。

庁舎は、3棟分割方式での整備としており、既に1号館は、平成15年6月に完成し、業務を遂行しています。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成17年度

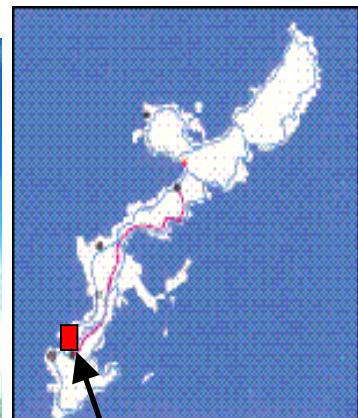
完成予定年度

平成19年度

平成18年度事業費

2,000百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度においては、平成17年度に引き続き那覇第2地方合同庁舎2号館（沖縄総合事務局庁舎）の工事促進を図り平成19年度の完成を目指します。

- 【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】
- 【沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出（環境）】

国場川広域基幹河川改修事業 ～災害に強い都市の構築～

1. 事業概要

国場川は、流域内の都市化の進展に伴い、浸水被害が発生しています。近年では、平成11年9月の台風18号により多数の浸水被害が発生しました。

国場川の整備については、昭和47年度から河川改修事業に着手し、平成17年度までに、下茂橋までの約5.7kmの整備を概成しています。その上流部においては、河川の断面が小さく、台風等豪雨時の際には河川の氾濫があるため、現在、上流の石原橋までの区間について、平成20年度完成を目指し重点投資していきます。

完成・新規・継続の区分
継続
事業区分（直轄・補助）
補助
事業着手年度
昭和47年度
完成予定年度
平成27年度
平成18年度事業費
1,170百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は護岸工 $L = 450\text{m}$ と用地買収を行い、当該区間の河川改修を実施することにより、治水安全度が5年に1回以下程度から50年に1回程度まで向上します。
(※治水安全度 = 防御可能な洪水の発生確率)

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり(安全)】

小谷地区地すべり対策事業(南城市佐敷)の整備促進
～平成18年度 繼続事業～

1. 事業概要

当該地区は、沖縄本島南部の南城市西部に位置し、地形は標高 170m 程度の全体に緩やかな起伏を示す丘陵地で、斜面自体に地すべりの兆候と見られる小崩壊や亀裂等が多数見られる。また、斜面下には災害弱者関連施設の特別養護老人ホーム小谷園が存在するが、平成 7 年 3 月と 6 月、平成 17 年 6 月に施設背後の斜面が崩壊して施設に被害をもたらした。今後の土砂災害を未然に防止するために地すべり対策事業による対策を行うものです。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分(直轄・補助)

補助

事業着手年度

平成 17 年度

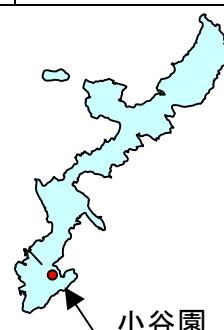
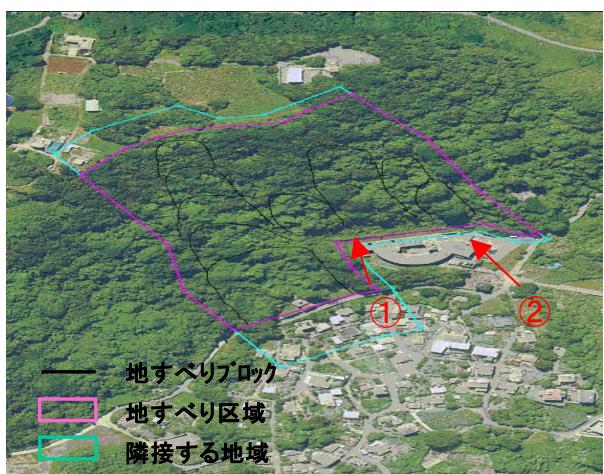
完成予定年度

平成 21 年度

平成 18 年度事業費

172 百万円

概要図



①小谷園背面土砂崩壊

平成17年6月
の被災状況



②仮設防護柵の設置

被災直後



仮設施工後の状況



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は、抑制工及び抑止工の整備を行う予定です。

○【沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出】

那覇港（新港ふ頭地区）廃棄物海面処分場整備事業 ～平成18年度 完成予定～

1. 事業概要

那覇港における港湾整備により発生する浚渫土砂を受け入れるとともに逼迫する廃棄物処理問題に対応するため、那覇港新港ふ頭地区において廃棄物海面処分場整備事業を実施します。同事業の廃棄物埋立護岸整備は、平成16年度から着手し平成18年度に完成する予定です。

これにより、確実な港湾整備を図ることができるようになるとともに、将来埋立により造成された用地を港湾関連用地として有効活用することとしています。

完成・新規・継続の区分

完成

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成16年度

完成予定年度

平成18年度

平成18年度事業費

760(228)百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は、遮水工工事を実施し事業を完了します。

○【沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出（環境）】

中部流域下水道事業 ～平成18年度 繼続事業～

1. 事業概要

中部流域下水道は、沖縄本島中南部西海岸の那覇市、浦添市、宜野湾市を中心とする都市部において、本土復帰前の昭和41年に事業を開始した。昭和47年に「沖縄中南部統合下水道事業」として琉球政府の認可を得、また昭和48年には「沖縄県中部流域下水道事業」として建設大臣の認可を得て下水道事業を推進し、那覇港海域、比謝川、国場川等公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図っている。

なお、中部流域下水道は那覇市など4市町からなる那覇処理区と宜野湾市など7市町村からなる伊佐浜処理区がある。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

昭和 47 年度

完成予定年度

平成 30 年度

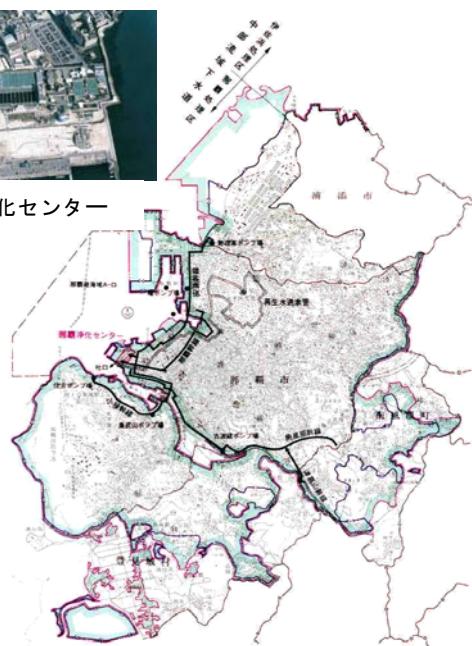
平成18年度事業費

5, 270 百万円

概要図



那覇浄化センター



那覇処理区事業位置図



宜野湾浄化センター



伊佐浜処理区事業位置図

2. 平成18年度の整備内容

【那覇処理区】 汚泥処理能力を増強するため、汚泥濃縮設備の増設や消化槽の改築を行う。また、維持管理機能の集約のため、管理棟を建設する。

【伊佐浜処理区】 沖合埋立地の下水処理場用地を購入を引き続き行い、処理施設増設のための本格的な工事に着手する。

○【特性を生かした安らぎと活力のある地域づくり（暮らし）】

西原西地区土地区画整理事業
～平成18年度 新規事業～

1. 事業概要

西原西地区は、那覇市及び浦添市に近接し、西原町のゲート性を有する地域として位置付けられているが、幹線道路等の整備に伴い、宅地開発など無秩序な土地利用が懸念されている。

このため、土地区画整理事業により、都市計画道路等の公共施設の整備・改善を行い、活力ある商業地及び良好な住宅地を確保し、計画的都市形成を図る。

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成18年度

完成予定年度

平成26年度

平成18年度事業費

40百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

- 事業計画の作成を行います。

○【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

公営住宅等の整備促進（那覇市営石嶺団地）

～平成18年度 新規事業～

1. 事業概要

昭和44年～50年に建設された老朽化の著しい那覇市営石嶺団地の建替事業であり、平成18年度に第Ⅰ期工事（150戸）に着手し、平成19年度以降に第Ⅱ～第VI期工事を計画（総整備戸数1,152戸）しています。

当該団地の建替により、団地全体の居住水準や防災性の向上を図り、周辺地域の環境向上にもつながる整備を行います。

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度（Ⅰ期）

平成 18 年度

完成予定年度（Ⅰ期）

平成20年度

平成 18 年度事業費

223百万円

概要図



【位置図】



【理況】

2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は第Ⅰ期工事に着手します。（8～9階建150戸）

○【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

公営住宅の整備促進（沖縄市営室川団地）
～平成18年度 完成事業～

1. 事業概要

昭和43年～47年に建設された沖縄市営室川団地の建替事業であり、第Ⅰ期工事119戸は平成11年度～平成13年度に整備、第Ⅱ期工事108戸は平成13年度～平成15年度に整備した。平成16年度に着手した第Ⅲ期工事65戸が平成18年度に完成予定であり、総戸数292戸を整備することとなります。

高齢者対応（シルバーハウジング29戸整備）、雨水利用、屋上緑化等に積極的に取り組んでいます。

完成・新規・継続の区分

完成

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度（Ⅲ期）

平成16年度

完成予定年度

平成18年度

平成18年度事業費

178百万円

概要図



【完成予想】

2. 平成18年度の整備内容

第Ⅲ期工事（2棟・65戸）を完成・供用します。

○【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり】

運天港（上運天地区）港湾改修事業

～平成18年度 完成予定～

1. 事業概要

運天港上運天地区では平成4年度から伊是名島、伊平屋島と沖縄本島を結ぶ離島航路の拠点としてのフェリーふ頭及びそれに附帯する旅客ターミナル、臨港道路、緑地の整備を行っており、平成15年度には伊是名バスが完成、平成18年度完成を目指し伊平屋バス、旅客ターミナルの整備が進められています。

完成・新規・継続の区分

完成

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成4年度

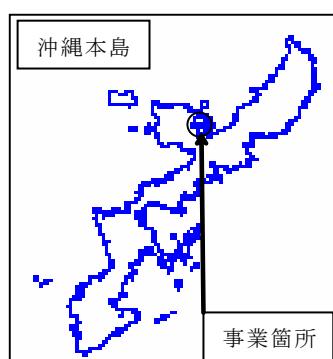
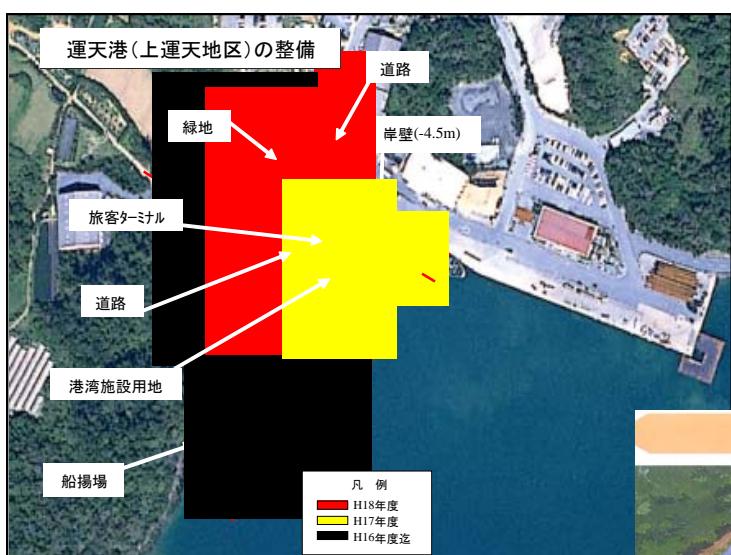
完成予定年度

平成18年度

平成18年度事業費

350百万円

概要図



2. 平成18年度の整備内容

平成18年度は旅客ターミナルの実施設計及び建設工事、臨港道路、緑地の整備を行います。

○【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり】

石垣港離島ターミナル再開発事業の整備促進
～平成24年度 完成予定～

1. 事業概要

石垣港離島ターミナルは西表島、竹富島など周辺離島航路の発着地であり、年間約200万人（H16）が利用している八重山諸島観光の玄関口でもある。

しかし、水域・陸域とも狭隘化しており、利便性・安全性の向上と貨物取扱の効率化を促進するため、早期供用が期待されている。

平成17年度には波除堤、浮桟橋2基が完成、離島旅客ターミナルビル建築に着手しています。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成15年度

完成予定年度

平成24年度

平成18年度事業費

150(135)百万円

概要図



〈現況〉



〈将来〉

2. 平成18年度の整備内容

平成17年度に引き続き、観光客等の安全な船舶への乗降を確保するため、離島旅客ターミナルビル建築と併せて、バリアフリー化に対応した浮桟橋の整備を行います。